

# 川の将来像づくりにむけて 土岐川庄内川コシカラプロジェクトを こんなふうに進めたいと考えています。

今後、2年間くらいかけて、土岐川庄内川の将来像を策定していきます。  
その中に、できるだけ多くの市民のみなさんの声を反映させていくために、  
「市民意見交換会（仮称）」「オープンハウス」などの場を設置していきます。

## 市民意見交換会（仮称）

流域内で活動しているグループや河川整備に関心のある個人の方（ヒアリングやオープンハウスでの呼びかけによる希望者）に応募していただき、河川整備に関する地元の情報や提案について、意見を自由に交換することを目的とします。  
開催頻度、開催場所等は、参加者のみなさんのご意見をうかがって決めていきます。



## オープンハウス

買い物の合間や通勤の時など自由な時間に立ち寄れる公共施設などに、川づくりの情報パネルを設置し、気軽にのぞけるようにした展示イベントです。  
来場者に、答えやすい形でご意見を伺うなど、多くの市民の声が計画に反映できるような工夫をしています。  
今年度は、あと2回程度の開催を考えています。

### ▲▲▲「オープンハウス」での質問の例 1

#### ステッカーアンケート

地図で「気になる場所」や「小さい頃遊んだ場所」等を探してシールを貼り、別紙にコメントを書いてもらう。

- 1) 「コメントカード」をもらう。
- 2) 番号のついたシールを地図に貼る。  
（「コメントカード」に添付してあるシールをはがし、地図で「コメントしたい場所」を探して、シールを貼ってもらう）



- 3) コメントカードに、シールを貼った場所に対するご意見、情報を書く。



### ▲▲▲「オープンハウス」での質問の例 2

#### 連想川風景

川のイメージ写真を展示し、庄内川の将来の姿だと仮定したときに、気にかかる点、イメージが膨らんだこと等を自由に書く。

- 1) 「ポストイット（書込みカード）」をもらう。
- 2) 写真を見て連想。  
（ここはどうなるんだろう、あんなこともできる、ここが心配など、自由に連想する）
- 3) 連想したことをポストイットに書く。
- 4) ポストイットを、写真の下に貼る。



## ニュース 1

あなたの声を聞きにいきます

# 「オープンハウス」が、まちにやってきた!

●春日井市役所（3/12） ●メ〜テレ春祭り（4/12.13） ●土岐川観察館（4/29）

オープンハウスは、これまで3カ所で開催されましたが、どの会場もたくさんの方でにぎわい、みなさん熱心にパネルを見たり、カードに自分の意見を書き込んで地図に貼り付けたりしてくださいました。  
地図や写真などのパネルに意見を貼ったり、「黒松並木について」など関心の高い話題をとりあげてのアンケートなどに、のべ1000人を超える方が答えてくれました。  
オープンハウスは、この夏も開催されます。楽しみにしててくださいね!



### いただいたご意見の一部を紹介します

#### 春日井市役所

- ・春日井市の中のただ一つの大きな川である庄内川を、全体に整備、公園にし、街のシンボルにしてほしい。
- ・地藏川の水に生活排水が入り過ぎている。（昔、王子製紙下流あたりの地藏川で魚を釣った。きれいだった）

#### メ〜テレ春祭り

- ・黒松の木を残してあげてください。木がとてかわいそうです。どうか木を切らないで下さい。
- ・黒松はどうしても残そう。私達の手で。車はどこでも走れるぞ。
- ・自然を残したい。交通規制し車を迂回させ、将来は他の道路を通すよう考えてほしい。
- ・車の洗滞はがまんして歩行者道路（公園設備）を作る。堤防周辺のゴミが少なく

- なるような気がする。
- ・庄内川堤防は人々の憩いの場でもあるのであまり車が多いと危ないし、緑は残した方がよいと思います。

#### 土岐川観察館

- ・冬になるとおしどりが越冬に訪れます。のんびり歩くタヌキも何度か見かけています。心配なのは高田川合流点すぐ下流に不法投棄が多いことと、四輪駆動車が川原を荒らしていること。（時々砂が大量に入っていることも）合流点付近は小魚も多くアカザ等も生息しています。いつまでも美しくあって欲しいのですが...
- ・堤防づたいに自転車で小さな子供が走れるように、陶都大橋や国長橋の下を自転車で通れたい。



## ニュース 2

# 「第2回 土岐川庄内川流域委員会」が開催されました

（6月5日 午後1時～3時・名古屋通信会館にて）

この日は、15名の委員のうち11名が出席し、傍聴者に見守られながら議事が進みました。  
会議の前半では、流域委員会の役割や地域懇談会との連携などについて話されました。後半では、事務局から現状と課題の説明を受け、質問や意見を述べ合いました。委員からは、「オープンハウスや市民意見交換会の意見をそのつどよく把握して、流域委員会の議論も進めていきたい」「ぜひ、全流域の人が一同に会して意見交換会を開催してもらいたい」などの意見が出されました。

\*くわしい内容は、「土岐川庄内川流域委員会通信」が発行されていますので、そちらをご覧ください。

